

「もつともつと会社を
大きくしたいって気持ち
ありますよ、僕は」

約 3,000 坪の新工場建設予定地にて (写真/今 紀之)



病弱だったジュニア

株式会社オプコ代表取締役専務・高橋良明が「ジュニア」と呼ばれるようになったのは、新世代産業研究会(新産会)という地元の実業家の意見交換会であった。新産会は設立から35年以上におよぶ伝統を誇る。先代社長の尾崎仙三さんに連れられてこの会に顔を出すと、二世代のはしりであつた彼は、まわりから「ジュニア世代だな」「ジュニアだ」と声がかつた。以来、その異名が定着している。

「もつ、ジュニアって齢でもないんですけどね」

そう言って笑うジュニアは、名古屋市のサラリーマン家庭で生まれた。慢性の腎炎のために幼稚園で2か月、小学校4年生の時には4か月間もの入院生活を余儀なくしている。

「4か月っていったら、2学期まるまる休んだわけですからね」
なんとか進級させようと、3学期中は母親の清江さんが毎日つき添ってジュニアを登校させた。清江さんは、ジュニアの通院・通学のために免許を取得して軽自動車

も購入、彼のことを毎日の最優先事項にしていた。

中学時代のジュニアは漢方薬に灸、鍼の世話になつていく。なんとも爺むさい話だが、清江さんとしては息子のために必死だつたのだらう。

その甲斐あつて、ジュニアは少しずつ元気になつていった。

クルマたち

ジュニアが決定的に変わったのは地元の名城大学理工学部に入學してからだつた。当時、サーフィンが流行つた。

株式会社オプコ / 代表取締役専務

高橋良明氏

たかはし よしあき

友人に誘われたが、ジュニアは健康上の問題から高校生まで体育の時間にプールに入ることもできなかったのだ。

「大学生活は4年間しかないんだ。やりたいことをやらなかったら、あとで後悔する。これで命が短くなったっていいじゃないか——そんな気持ちでしたね」

ジュニアはサーフィンをはじめた。それから、テニス、ローラースケート、スキーとそれまで抑えていたことに一気に挑んだ。しかも病弱コンプレックス(?)から、皆に遅れをとられないスポーツを選定していたという。「サーフィンは大学時代からはじめた連中が多かったんで、なんとかついていきました。テニスも、みんなそれまでは軟式だったんで、硬式テニスはスタートがいつしよです。でも、野球みたいに子どもころからはじめたスポーツは歯が立ちません」

「病は気からと言いますが、まさに気持ちで治るものだと実感しましたね」

もうひとつ夢中になったのがバイクとクルマ。バイクは当初のツインカムエンジンを搭載したスズキGS400。クルマは、自動車ディーラーだった父・良夫さんの伝で10年落ちのブルーメタリックのサニーを5万円で購入した。「当時、ブルメタは、サニーから

目で魅了された。「これが欲しい」先端機械だった。手の届かないような価格がついている。ジュニアは面食らった。いまの経営状態では導入できるはずがなかった。そこで通産省の資金援助を得るため奔走した。

機械導入後は、ジュニア自ら自動車部品の試作に着手した。「いまは仕事はないが、おまえたち、これをつかいこなしてみろ」という

仙三さんの意図を感じたのだ。ペテラン職人の船木老人がジュニアにつきあってくれた。耳が遠い船木老人に向け、ただでさえ騒音の激しい工場で大声で話しかけなければならぬのがたいへんだった。

酒好きの船木老人は腕のいい職人だったが、三次元ブロー成型機

いしかなかったんじゃないかな。あと、モスグリーンのカリナーね。これがクルマ好きには垂涎(すいぜん)的(てき)だった。

2台めに購入したのがカリナーだった。ただし、モスグリーンではなかったけれど。その後も、マークII、スカイラインのGT-Xと乗り換えている。もちろんみな中古車だ。

アルバイト先はガソリンスタンド。「バイト代がよかったのと、あと、洗車もオイル交換もできますしね」

進路

「まったく勉強しない、ミハーナ学生生活」を送ったジュニアにも卒業の時がきた。進路を決めなければならぬ。ちょうどそのころ、両親が良夫さんの郷里である岐阜県大垣市の実家に新家を構え、移り住むこととなった。「ま、そっちで就職するか」ジュニアは、岐阜の機械製造会社・株式会社関ヶ原製作所に入社する。

モノづくりには子どもころから興味があった。病弱のため外で遊べないせいか、プラモデルには熱中した。やはりクルマをつくるのが好きだった。入院時には、治療のさまたげになるからと禁止されていたが、隠れてプラモづくりに励んだ。自分で工夫して、ドア

には、もちろん触れるものをはじめでだ。朝、たまに酒のおいさをさせてやってくる船木老人と、工場の隅で二人三脚で最新マシンと格闘する日々だった。「師匠でしたね、あのひとが僕の」

充実した日々。他社もこの機械を導入しているかもしれない。けれど、不思議と焦りはなかった。「まだこの世界に入ったばかりだし、無心でやっていただけでしょね」

そうして、なによりジュニアは大好きなクルマの部品をつくって

ある朝、船木老人が姿を見せなかった。胸騒ぎをおぼえたジュニアは工場を飛び出した。船木老人は、酒瓶が摩天楼のように林立する独居で冷たくなって

いた。

永遠のジュニア

試作から4年後、三次元ブロー成型機は量産体制に入った。それとともにマシンは増え、3台が稼働するまでになった。

1992年、本社を北區中丸町に移転し、ビルを新築。これを機に社名変更することになった。あれこれ候補があがったが、なかなか決まらな。社員のひとりかなにげなく口にした「オプロ」の語感のよさにそれ

気持ちでいっぱいです。に苦勞を与えてくれたって(笑)」

「もちろん感謝のよくもまあ、こんな



を開けられるようにつくり変えたりもしたものだ。

就職先では設計希望だったが品質管理に配属された。クレームがあると客先に謝りに行かなければならない。辛いこともあったが、やりがいも感じていた。

「仕事も波に乗ってきた。よし、結婚しよう!」

衣久子さんとめぐり会ったのは大学時代だ。交際してもう5年以上になっていた。

結婚の許しを得るため、名古屋市北区波打町にある衣久子の実家を訪ねると、「尾崎プラスチック工業株式会社」という看板がかかっていた。「なにか商売をしていることくらいは知っていたんですけどね……」

自宅の横にプレハブの事務所があり、奥にちいさな工場があった。もプラスチックだ」と言われ、成型機械を1台買い、弁当に入っている魚のかたちの醤油入れをつくるころからはじめた。思えば、これが同社の最初のブロー成型だった。

入社まえ、「つくってみろ」と仙三さんからラジコンヘリコプターのキットを渡された。「腕試しみたいなものだったのかなあ」

あるいは、娘の結婚相手のことが知りたいという意味も込められていたのかもしれない。

ジュニアがつくったラジコンヘリは、いまも本社ビルの事務所に飾られている。それを見るたび、娘婿の名前が呼びにくいのか、自分のことを仙三さんがすこし照れたように、「お兄ちゃん」と呼んでいたのを思い出す。

「もちろん先代には感謝の気持ちでいっぱいですよ、よくもまあ、こんなに苦勞を与えてくれたって(笑)」

義理の弟である尾崎浩一さんが2代目社長に、ジュニアは専務に就任した。

ここ数年、売上額は上がっている。だが、収益率がよくない。「自動車部品はどうしてもね。もっと資金的な余裕がほしいですよ。新しい機械を買って、よし、アレやってみるかっていうような余裕と勢いがね。もっともっと会社を大きくしたいって気持ちがありま

衣久子さんの父・仙三さんは、「会社を手伝わないと娘はやらない」とにべもない。

「うちには借金もある。しかし、それも財産だ」にこりとみせず言う仙三さんをまえにジュニアも腹をくくった。衣久子さんを愛していた。

ジュニアは3年でそれまで勤めた職場から離れることになった。従業員300人の会社から40人ほどの尾崎プラスチック工業へ。

本社とは別に小牧市に工場があった。そこは3交代で24時間稼働している。ジュニアもつなぎの作業服を着て現場勤務についた。

「いわゆる3Kってやつですよ。向こうにしてみれば、娘の亭主だし、辞めることはないだろうくらいに思ってたんじゃないですか」

仕事はきつかった。夏は、つなぎがたちまち汗みどろになった。取引先との打ち合わせには、つなぎを脱いでTシャツに上着を引っかけたような格好でゆく。

「オレはいつまでこんなことをやるんだろう?」

三次元ブロー成型機

そんなある日、仙三さんとともに訪れたプラスチック機械の展示会で、三次元ブロー成型機を見た。新しもの好きの仙三さんが、ひと

すよ、僕は」

最近、地元が集まりがあり、そこには新産会の第一世代の経営者の姿もあった。ジュニアはそのひとにきいてみた。

「僕、いつまでジュニアなんでしょうね?」

「ジュニアは永遠のジュニアや!」そのひとが言った。

「それがいいものか、どうなのか?」

と彼は考える。しかし、ジュニアというニックネームを彼は気に入っている。そこには無心の響きがある。そう、それはかつて三次元ブロー成型機の試作品に挑んでいた日々のように。彼は永遠のジュニアだ。

(取材・文 上野歩)

Company Profile

株式会社オプロ 小牧工場
所在地: 愛知県名古屋市中丸町 2-35
TEL: 052-991-4551
FAX: 052-915-3511
担当者: 代表取締役専務 高橋良明



会社情報

エミダス会社・工場詳細情報:

http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?5134
事業内容: 自動車用エアクリナーホース、リザーブタンク、エアコンダクトなど、ブロー成型の製造販売。
※本誌付録の「CD-ROM de バーチャル工場見学」にて、同社の動画をご紹介しております。